



平成26年9月10日
国土交通省中部地方整備局
名古屋港湾事務所

名古屋港における 「自動車産業と港の連携のあり方に関する検討会」 の設置について

高潮防波堤建設（昭和39年）から50年、多くの課題が山積する名古屋港の更なる発展とサービスの向上を目指し、日本経済を牽引する自動車産業と港の連携のあり方について検討するため、平成26年9月4日（木）に自動車メーカー、船社、港運、経済団体、行政機関をメンバーとする「自動車産業と港の連携のあり方に関する検討会」（座長：名古屋港湾事務所長 永井一浩）を設置し、名古屋市内にて第1回目の検討会を開催しました。

第1回 検討会の概要

名古屋港における自動車輸送に関する現状や課題についての説明後、自動車輸送に関する課題や解決の方向性について議論が行われました。

<主な意見>

- ・金城埠頭における物流機能と交流機能の混在が問題と考えている。一般車と物流車の混在により起こる渋滞や安全性などの問題への対応策を考えていく必要がある。また、今まで使っていたモータープールが使えなくなることとなり、その解決策としてモータープールの集約化や立体化も視野に入れてはどうか。
- ・RORO船もコンテナ船と同じように大型化が進んでおり、金城埠頭の岸壁の大水深化を検討してほしい。
- ・BCPの観点から、金城埠頭の岸壁を、耐震性を含めて盤石なものとし、災害時に広く開放する事も重要だと考える。耐震岸壁が整備されても、航路啓開ができないと輸送は行えない。
- ・岸壁やモータープールだけではなく、道路整備に関しても議論して行くことが必要。
- ・名古屋港の課題と解決に向けた方向性を検討することは重要であり、今後も議論を重ねていきたい。

検討会構成員

別紙のとおり

今後の予定

当検討会は、平成26年度中に3回程度開催し、一定の方向性をとりまとめる予定です。



- 配布先 中部地方整備局記者クラブ、名古屋港記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムズ、日本海事新聞、海事プレス

- 問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾事務所 企画調整課 板生

Tel 052-651-6763 Fax 052-652-0303

「自動車産業と港の連携のあり方に関する検討会」 構成員

(敬称略・順不同)

区分	所属・機関名	構成員	
		役職	氏名
港湾利用者	トヨタ自動車（株）	物流管理部 部長	木村 省二
	三菱自動車工業（株）	物流企画部 部長	伊達 亮
	本田技研工業（株）	鈴鹿製品物流ブロック ブロックリーダー	五十嵐 大輔
	スズキ（株）	海外営業業務部 物流管理課長	大豆生田 守男
	日本郵船（株）	名古屋支店 支店長	小澤 敏也
	（株）商船三井	名古屋支店 支店長	坪井 伸夫
	川崎汽船（株）	名古屋支店長	村尾 圭司
	（株）フジトランス コーポレーション	専務取締役	飯本 務
	トヨフジ海運（株）	総合企画部 主査	犬飼 良二
	名港海運（株）	常務取締役	飯田 輝智
	伊勢湾海運（株）	専務取締役	飯谷 達夫
経済団体	名古屋商工会議所	企画振興部 地域・都市整備グループ長	大竹 正芳
	（一社）中部経済連合会	社会基盤部長	秋永 一幸
行政機関	名古屋港管理組合	企画調整室長	錦見 桂司
	中部地方整備局	港湾空港部 計画管理官	庄司 義明
	中部地方整備局	港湾空港部 港湾物流企画室長	柴田 鋼三
	中部地方整備局	名古屋港湾事務所長	永井 一浩
	中部地方整備局	名古屋港湾事務所 企画調整課長	板生 考司